

J E N E S Y S 2 . 0**福島県いわき市中学生訪問団****訪問日程 平成 27 年 9 月 6 日 (日) ~9 月 12 日 (土)****1. プログラム概要**

「JENESYS2.0」の一環として、いわき市内の中学校から選抜された中学生による福島県いわき市中学生訪問団計 50 名が、9 月 6 日から 9 月 12 日までの 6 泊 7 日の日程でプログラムを行いました。

団長：草野仁 いわき市教育委員会学校教育課長

訪問地：ソウル特別市、京畿道（水原市、高陽市、坡州市、龍仁市）

一行は韓国滞在中、ソウル特別市や京畿道で中学校訪問や文化体験・視察などを通じて、韓国の文化・社会に対する理解を深めました。

2. 日程**9/6(日)**

入国(金浦国際空港)

9/7(月)

韓国国立国際教育院訪問、韓国語講義、文化体験(韓服試着体験)

9/8(火)

パルサン中学校訪問

9/9(水)

臨津閣、第 3 トンネル、都羅山駅、都羅展望台見学

9/10(木)

企業訪問(SAMSUNG INNOVATION MUSEUM)、韓国民俗村、水原華城見学

9/11(金)

亜州大学校訪問(講義、大学生との交流)、在大韓民国日本国大使館公報文化院訪問、修了式

9/12(土)

帰国(金浦国際空港)

3. 写真

	
<p>(日本語)9月7日 韓国国立国際教育院訪問 (ソウル市)</p>	<p>(日本語)9月7日 韓国語講義 (ソウル市)</p>
<p>(母国語)9월 7일 한국 국립국제교육원 방문 (서울시)</p>	<p>(母国語)9월 7일 한국어 특강(서울시)</p>
	
<p>(日本語)9月7日 南山韓屋村見学 (ソウル市)</p>	<p>(日本語)9月7日 文化体験 (韓服) (ソウル市)</p>
<p>(母国語)9월 7일 남산 한옥마을(서울시)</p>	<p>(母国語)9월 7일 문화체험(한복)(서울시)</p>
	
<p>(日本語)9月8日 パルサン中学校訪問(高陽市)</p>	<p>(日本語)9月8日 パルサン中学校訪問 授業体験 (高陽市)</p>
<p>(母国語)9월 8일 발산중학교 방문(고양시)</p>	<p>(母国語)9월 8일 발산중학교 방문 수업 체험(고양시)</p>

	
<p>(日本語)9月8日 パルサン中学校訪問 授業体験 (高陽市)</p>	<p>(日本語)9月8日 いわき市中学生の発表 パルサン中学校 (高陽市)</p>
<p>(母国語)9월 8일 발산중학교 방문 수업 체험(고양시)</p>	<p>(母国語)9월 8일 이와키시 중학생측 발표 발산중학교(고양시)</p>
	
<p>(日本語)9月9日 都羅展望台見学 (坡州市)</p>	<p>(日本語)9月9日 第3トンネル見学 (坡州市)</p>
<p>(母国語)9월 9일 도라전망대 견학(파주시)</p>	<p>(母国語)9월 9일 제3땅굴 견학(파주시)</p>
	
<p>(日本語)9月9日 都羅山駅見学 (坡州市)</p>	<p>(日本語)9月10日 SAMSUNG INNOVATION MUSEUM 見学 (水原市)</p>
<p>(母国語)9월 9일 도라산역 견학(파주시)</p>	<p>(母国語)9월 10일 SAMSUNG INNOVATION MUSEUM 견학(수원시)</p>

	
<p>(日本語) 9月10日 韓国民俗村見学 (龍仁市)</p>	<p>(日本語) 9月10日 水原華城見学 (水原市)</p>
<p>(母国語) 9월 10일 한국민속촌 견학 (용인시)</p>	<p>(母国語) 9월 10일 수원화성 견학 (수원시)</p>
	
<p>(日本語) 9月11日 亜州大学校訪問 学生との交流 (水原市)</p>	<p>(日本語) 9月11日 亜州大学校訪問 学生との交流 (水原市)</p>
<p>(母国語) 9월 11일 아주대학교 방문 학생들과의 교류 (수원시)</p>	<p>(母国語) 9월 11일 아주대학교 방문 학생들과의 교류 (수원시)</p>
	
<p>(日本語) 9月11日 在大韓民国大使館公報文化院訪問 (ソウル市)</p>	<p>(日本語) 9月11日 在大韓民国大使館公報文化院で発表するいわき市中学生 (ソウル市)</p>
<p>(母国語) 9월 11일 주한일본국대사관 공보문화원 방문 (서울시)</p>	<p>(母国語) 9월 11일 주한일본국대사관 공보문화원에서 발표하는 이와키시중학생들 (서울시)</p>

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○学校訪問について

- ・もっとも印象に残っているのは学校訪問であり、韓国の中学生と一緒に活動したことだ。
- ・韓国側の歓迎ぶりがうれしかったし、その期待に応えるべく、一生懸命に韓国語で福島県を伝えることができた。
- ・スポーツや授業を通して交流を深められ、友情関係も湧いてきた。
- ・校舎の窓という窓から手を振ってくれ温かく歓迎してくれた。
- ・日本の学校よりも自由な校風があるように感じられ、韓国生徒の積極性に驚いた。
- ・同世代の交流においては政治や国際関係は感じられず、ただ隣国の人を理解しようとする気持ちを持っていた。
- ・教室等の環境が日本より進んでいて教育の点では韓国の方が充実していると思った。

○学生との交流について

- ・昔からの友人のように接してくれた。
- ・とても優しく、温かい心で歓迎してくれる人が多かった。
- ・言葉は通じなくても身振り手振りで伝えることができることがわかった。
- ・自らの気持ちを全力で素直に表現できることに感動した。
- ・韓国の中学生が自分の拙い英語でも理解しようとして必死に聞き続けてくれたことがうれしかった。
- ・たった1日もしない訪問だったが、別れを惜しむ程に悲しんでくれた。この時に絶対に連絡を取り合おうと思った。
- ・「言葉の壁」に一番心配していたが、韓国の生徒が韓国語、英語、日本語と話しかけてくれ楽しく過ごせた。
- ・韓国生徒の英語力の高さに驚いた。

○文化、歴史、礼儀について

- ・民俗村で農楽のにぎやかさを知った。このような伝統を守っていくのも大切だと思った。
- ・軍隊による警備、軍事境界線の緊張、兵役等の現状を知ることで平和の大切さがよく分かった。
- ・韓国と北朝鮮の元は同じ民族が二分し現在に至っている現実が印象的だった。
- ・DMZ 付近の見学が印象的だった。早く南北が統一されて欲しい。

○韓国・韓国人について

- ・英語教育や個性の伸長に重点を置いている教育事情
- ・日本人以上に訪問者へのおもてなしの態度
- ・町全体がにぎやかで明るく、元気をもらえる。
- ・日本に対し反感があると思っていたが、そのイメージは訪問を通じて一気になくなった。
- ・これまで韓国について悪いイメージがあったが、今回の派遣でイメージががらりと変化した。
- ・韓国に対してあまりよく思っていなかったが、これからは少し違った視点で見たいし、今回感じたことをみんなに伝えていきたい。

○その他

- ・日韓関係は難しい点があるが、交流の機会を設け、コミュニケーションを図るスキルを身につけることが重要である。
- ・派遣を通じて、グローバルな社会であるからこそ英語力が必須であり、身につけるべきものとして見直した。
- ・コミュニケーション力をつけていきたい。
- ・違う国に自分を分かってくれる友だちがいるということに大きな感動を覚える。
- ・今後も日韓関係を日本・韓国の両国から調べ、両者の認識の違いについて理解を深めていくつもりだ。
- ・今回学んだことをより多くの人に自分から SNS 等さまざまな手段を使い、より良い方向に進行するよう広報していきたい。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・外国へ出かけ、その国の生活や文化に触れることはとても有意義なことである。
- ・できればこのような日韓交流のできる機会をつくり、たくさんの人々に体験してもらいたい。
- ・他国を知ることで自国の良さを知ることができる。
- ・中学生という年代で実際に韓国を訪れ、自分の目と耳で見聞きし感じ取ることは何事にも代えがたい経験だと思った。
- ・韓国派遣でできた友だちやお世話になった人たちから教わったことを自分が感じたこと、あった出来事を伝えたい。
- ・家族、学校のみならず、本当の韓国とはこんなところだと、韓国の歴史や文化に興味を持つように広めたい。
- ・自分たちが韓国に抱いている負のイメージはマスメディアの影響が大きく、国家間はともかく、一般人はとても良い人だということ。